

2 単元計画及び評価規準の例

<単元計画>

対象学校		中学校		学年	第1学年
単元名		西都について語ろう ー歴史・風土・福祉ー		内容領域	「歴史・伝統と自分」
単元目標	関心・意欲・態度	西都市の歴史・伝統・自然・環境に関心を持ち、意欲的に活動に取り組み自分たちの住む地域をさらによくしようとする態度を身に付けることができる。			
	思考判断	西都市の歴史・伝統・自然・環境と現在の生活とのかかわりについて認識を深め、その重要性について考えることができる。			
	技能表現	西都市の状況を自分の考えと結び付けて考え、客観的にまとめ、表現することができる。			
	知識理解	西都市の産業や生活、歴史、伝統、自然などの西都市の特色や課題を理解することができる。			
単元の意図		本単元は、西都市の歴史・伝統、自然や環境について理解を深め、生涯にわたって歴史・伝統を語り継ぎ、自然環境を守る資質や能力を育てることをねらいとしている。また、地域の偉人が残した功績を知ること、自分の生き方と関連させ、よりよい社会を実現するために積極的に参加する態度を身に付けさせることもねらいの一つである。そのため、「歴史・風土の調査」、「福祉体験」の2つで構成している。			
単元計画				総時間数	35時間
題材	月	時間	活動	留意点	
西都の歴史・風土について調べよう	4~10	1	・オリエンテーション	さいと学の全体像についてとらえさせる。	
		2~4	・伊東マンショについて知る。	地域の偉人「伊東マンショ」について資料で確認させる。	
		5~9	・地域調査を行う。	事前アンケートを行い、コースを配置する。また、生徒ごとに西都の歴史、風土、産業などテーマを設定させ、調査活動に取り組ませる。	
		10~15	・調査結果をまとめる。 ・調査結果を発表する。	各コース、学年、文化祭の順で発表を行わせる。	
福祉について考えよう	11~2	16~18	・石井十次について知る。	地域の偉人「石井十次」について資料で確認させる。	
		19~21	・福祉の意義について考える。 ・福祉についての基礎知識を習得する。	社会福祉協議会から講師を招き、専門的な知識を補充させる。	
		22	・事前アンケート及び班編成の実施	事前アンケートを実施し、希望分野で体験ができるよう配慮する。	
		23	・事前訪問	電話でアポイントを取らせ、事前準備をスムーズに進める。	
		24~29	・福祉体験活動の実施	地域の事業所と協力を得ながら職場体験学習に取り組ませる。	
福祉について考えよう（発表）	2~3	30~33	・お礼状作成福祉体験活動報告書及び ・福祉体験報告会の実施	お世話になった事業所に対して、お礼状を作成させる。 生徒一人一人に報告書を作成させ、その実態と成果を報告会において発表させる。	
		34~35	・まとめ	自分のさいと学に還元されるように1年間の反省をまとめさせる。	

対象学校		中学校		学年	第2 学年
単元名		西都の産業に着目し、望ましい職業観、勤労観を身に付けようー職場体験ー		内容領域	「産業・生活と自分」
単元目標	関心・意欲・態度	将来の仕事や職業に関心を深め、望ましい職業観や勤労観を身に付け、西都市をさらに良くしようとする態度をもつことができる。			
	思考判断	西都市の中の自分の存在や立場について役割についてとらえ、将来どのような職業に就くか、自分の進路選択について考えることができる。			
	技能表現	西都市の状況を他の地域と比較を通して、共通点や相違点に気づき、自分の考えと結び付けて整理し、客観的に表現することができる。			
	知識理解	体験学習を通して、働くことの意義や大切さ、働く人々の想いについて理解することができる。			
単元の意図	本単元は、西都市の産業・生活の実態や働くことの意義や役割について理解し、西都市の産業・生活を発展させ、豊かな社会の実現に向けて考える資質や能力を高めることをねらいとしている。そのため、望ましい職業観や勤労観を育て、職業の知識や技能を習得させる「他地域と西都の比較」、「職場体験学習」の2つで構成している。				
単元計画				総時間数	3 5 時間
題材	月	時間	活動	留意点	
他の地域と西都を比較しよう	4～7	1	・オリエンテーション	2 年次のテーマについて確認させる。	
		2～7	・西都市と修学旅行先の産業・生活の実態を調査し、比較する。	班でテーマを設定させ、修学旅行先、見学地の調べ学習に取り組ませる。	
		8～9	・修学旅行先での実地調査との比較に基づき、まとめ発表する。	西都市と修学旅行先を比較させることで、自分たちの住む地域について関心を高めさせる。	
望 ま し い 職 業 観、勤労観を身に付けよう	9～11	10～11	・働く人へのインタビューを行う。	興味のある職業について、テーマを設定し、保護者を対象にインタビューを行う。	
		12～13	・働く人と語る会を行う。	西都市内近郊に働く人を招き、職業の意義などを聞かせる。	
		14～15	・職場体験事前準備及び班編成	事前アンケートを実施し、希望する分野で体験ができるよう配慮する。	
		16～17	・事前訪問	電話でアポイントを取らせ、事前準備をスムーズに進めさせる。	
		18～29	・職場体験実施	地域の事業所と協力を得ながら職場体験学習を行う。	
望 ま し い 職 業 観、勤労観を身に付けよう (発表)	12～3	30～31	・職場体験報告書、お礼状作成	お世話になった事業所に対して、お礼状を作成させる。	
		32～34	・職場体験報告会	生徒一人一人に報告書を作成させ、活動のようすや成果等を発表させる。 写真やビデオ等で職場体験を振り返り、他の生徒の活動についても確認する。	
		35	・まとめ	自分の進路について最終学年に向け考え、意識付けを行う	

対象学校		中学校		学年	第3学年	
単元名		西都をになう社会人として資質能力を身に付けようー進路指導ー		内容領域	「西都の未来と将来の自分」	
単元目標	関心・意欲・態度	自分の将来や西都市と自分のかかわりや生き方について興味・関心をもち、意欲的な体験活動に取り組むことができる。				
	思考判断	経験を通して、西都市が抱える課題を分析し、自分の果たすべき役割について考えることができる。				
	技能表現	自分の生き方や進路に関する情報を収集、整理し創意工夫を加え、表現することができる				
	知識理解	西都市の自然・環境、歴史・伝統、産業や生活など、西都市の現状や課題などを総合的に理解することができる。				
単元の意図		本単元は、西都市の現状や課題と自分の生活について認識を深め、西都市の未来や自分の生き方について考え、将来を担う社会人としての資質や能力を高めることをねらいとしている。そのためにすべての活動を通して、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力、態度を育成する内容で構成している。				
単元計画					総時間数	35時間
題材	月	時間	活動	留意点		
将来の進路選択に向け資質と能力を身に付けよう①	4~7	1	・オリエンテーション	3年次のテーマについて確認させる。		
		2~3	・礼法指導1	社会に出て必要な礼儀作法について講師を招き、取り組ませる。		
		4~5	・自己進路計画の作成	進路希望の実現を目指し、3年生としての進路計画を作成させる。		
		6~7	・第1回高校説明会の実施	高校から担当者を招き、各学校の特色を生徒、保護者に理解させる。		
		8~9	・先輩から学ぶ進路選択1 「卒業生と語る会」の実施	身近な卒業生の進路選択体験談を聞くことにより、進路選択の方向を検討させる。		
	夏季休業		・高校体験入学	意義を理解させた上で参加させ、情報収集、進路選択を考えさせる。		
	9~12	10~11	・第2回高校説明会	高校から担当者を招き、各学校の特色を生徒、保護者に理解させる。		
		12~13	・先輩から学ぶ進路選択2 「社会人と語る会」の実施	本校の卒業生から社会での体験談を聞くことで、進路選択に役立てさせる。		
		14~15	・作文、小論文制作1	小論文作成の具体的な手順を理解させる。		
		16~21	・作文、小論文の制作2	これまでに学んださいと学からテーマを絞り、小論文を作成させる。		
将来の進路選択に向け資質と能力を身に付けよう②	1~3	22~27	・コミュニケーション能力育成①個人面接及び礼法指導	面接の基本的な方法について理解させる。		
		28~33	・コミュニケーション能力育成②集団討議及び礼儀指導	集団討議の具体的な方法について訓練の中から習得させる。		
		34~35	・在校生への進路アドバイス	後輩に向け、進路選択のコツをまとめさせる。		